

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」下野校			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	過ごしやすい環境や適正な職員配置の中で、安心感をもってお子様が事業所を利用することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の活動スペースをパーテーションによって区切り、活動場所が分かりやすい環境を提供している</li> <li>・季節感を感じられる壁面やお子様の創作物などを掲示する事で事業所全体の雰囲気心を掛けている</li> <li>・お子様のその日の状態を確認し、無理のない支援プログラムを提供している</li> </ul>	職員配置については今以上に充実させていき、それぞれの立場での多角的な視点をもって、お子様への支援に繋げていく。また、事業所環境についてはご利用者のご意見も反映しながら、より過ごしやすい環境作りを心掛けていく
2	お子様一人一人の状況を丁寧にアセスメントし、ニーズに合わせた質の高い支援を提供することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『個別療育』を基本とした療育を提供しており、お子様の課題に直結した支援を提供することができる</li> <li>・お子様の情報について、事業所の職員で日々情報共有を行い、同じ目標に向けたアプローチを行っている</li> <li>・定例の研修制度や他校舎の専門職(ST,PT等)の職員との交流など、支援の質を高める仕組みが社内整備されている</li> </ul>	外部研修や療育施設への見学等の機会があれば積極的に参加していく。また、自事業所だけでなく、関係各所との連携を図りながら包括的にお子様へのサポート体制を充実させていく事で、より適切な療育を提供していくことに繋がる。
3	保護者様とお話をする環境が常にあり、お子様についての共通理解が図れる。また、支援に内容について直接丁寧な説明ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様と毎回、支援後に話をする時間があり、そこでお子様の成長や今後の取り組みについての確認ができる</li> <li>・支援時間内などを利用し、別室で保護者様と面談をし、じっくりお子様についてお話を伺っている</li> </ul>	職員と保護者様との関係だけでなく、保護者様同士の横の繋がりを育てる場を事業所内で提供していきたい。また、ペアレントトレーニングなど、お子様と保護者様が一緒に活動ができるプログラムも検討していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との横の連携が不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業所や地域団体との情報共有や交流の機会が少ない</li> <li>・事業所内での業務が優先になり、外部との連携に割く時間を取るのが難しい</li> <li>・地域ニーズや他団体の取り組みに対する理解が十分でない</li> </ul>	地域の交流会や情報共有の場に積極的に参加し、他事業所や関係機関との関係性を深めていく。また、人員確保、業務の効率化を図ることで、外部との連携に充てる時間を確保していく。さらに、各自治体が示している方針を把握し、それに基づく事業所での取り組みを検討していく。
2	事業所内で避難訓練等の安全対策が周知できていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や安全対策についてご利用者向けの説明や指導が不足している</li> <li>・訓練内容や手順が分かりにくい</li> <li>・定期的な訓練実施や安全対策の周知が十分に行われていない</li> </ul>	定期的実施している避難訓練を、お子様にも参加のご協力をお願いしていく。加えて、訓練後には保護者様へのフィードバックもおこなっていく。また、安全対策について、事業所内で掲示や配布資料を活用し、お子様や保護者様がいつでも確認できる状態にする。
3	保護者様を対象とした保護者会や座談会のような集まりの機会を持っていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のニーズの把握や準備が不足している</li> <li>・多忙な予定がある保護者様への参加率を懸念している</li> </ul>	まず、アンケートを実施し、希望するテーマや開催日時を把握していく。また、短時間で参加やオンライン形式など、柔軟な開催方法を検討していく。小規模な開催から始め、保護者様の反応を見ながら継続的な仕組みをつくっていく

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」下野校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 5名

回収数 4名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					お子様の活動に応じた適切な環境を提供してきます。また、時間帯の受け入れ人数やバージョンを使った活動スペースの確保など工夫してきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					適切な基準人員を満たした運営をおこなっていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1				安全面や機能性を重視し、最適な環境ができるよう再度、検討してきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1				今後、支援プログラムについてHP上で公表していきます。また、支援プログラムと療育内容の整合性が取れているか、定期的に情報提供をおこなっていきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1				個別支援計画の中で5領域に応じた支援目標を、個々の状況に合わせて設定しています。また、お子様本人だけでなく、ご家族様へのサポート、必要に応じて保育園や幼稚園などの関係機関との連携ができる体制を整えています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	1	1		・送迎バスなど利用したい（送迎が大変） ・利用時間を増やしたい	ご利用者様や保護者様のご要望を聞き取り、可能な範囲で最大限ご要望にお応えできるよう対応を検討してきます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		2			ニーズに合わせて地域資源の活用ができるよう、地域の情報収集や各関係機関との交流の場への参加をしていきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		2			内部・外部研修を行い、保護者様のニーズを踏まえて対応を検討してきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		1			事業所内での面談の時間を必要に合わせて設定し、その中でじっくり話を聞ける環境を作れるよう心掛けています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1			感染症などの状況に配慮しながら、今後も保護者様のニーズを確認しながら保護者会の開催を検討していきます

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3		1		HP上のブログやInstagramを活用し、教室からの情報を発信しています。また、内部の方向けにはチラシやLINEの一斉送信機能で定期的なイベント情報を周知しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				利用者の個人情報に関しては個別にファイリングし、事務室のロッカー内に保管。また写真撮影に関しては個人情報の同意書での署名と適宜確認を行っています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		1	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1	1	毎月、様々な状況を想定した避難訓練を実施しています。必要に応じて利用者にも参加の協力を依頼しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	安全対策については、引き続きお子様や保護者様のご意見を大切にして対応を検討していきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				お子様や保護者様に対してまずは話を聞く姿勢を大切にし、何に困っているのかを当事者視点で共感させていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				・お子様自身が日々楽しく自信を持って日常生活を送ることができるように引き続きサポートしていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1			・一人一人のお子様と丁寧に開わりながら、ご利用頂いているお子様や保護者様の困り感を少しでも軽減できるように、今後も事業所として質の向上が図れるよう努めていきます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」下野校	公表日	2025年 2月 15日
------	-------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	5		個別療育を行っている為、時間帯を区切り受け入れ人数も調整しながら受け入れを行っています。	ご希望の多い時間帯に関しては、ご案内を制限している状況があります。お子様ごとの利用計画に合わせた利用ができるように、全体のバランスをとりながら調整をおこなっていきます
	2	5		適切な基準人員を満たした運営をおこなっています	
	3	5			安全性や機能面において、ご利用者様のご意見も踏まえながら改善が必要な部分は検討していきます
	4	5			
	5	5		指導訓練室から離れた場所でクールダウンスペースを確保しています。扉もある為、一時的に周りの刺激を遮断する事も可能です	利用する場合のルールや利用時の安全確保の方法について定期的に確認していきます
業務改善	6	5		目標設定と振り返りに関しては、社内の評価制度に則り定期的に行われます。また、管理者との面談の機会も必要に応じて実施されています	
	7	5			
	8	5			
	9	5			
	10	5		定期的に発達研究所が主体となる社内研修が行われ、職員が参加する機会があります。また、外部研修（特に行政発信の研修）には積極的に参加しています	実際の利用者の事例検討会や支援者同士が交流する機会（外部の方も含め）を、更に増やしていきたいです
適切な支援の提	11	5			今年度中に支援プログラムを作成しHP上で公表できるよう準備を進めています
	12	5			
	13	5			
	14	5		定期的な事業所内でのMTGと社内の共有ツールを活用し、必要な情報はその都度共有し、全員が共通の理解をもって支援の対応ができるようにしています	
	15	4	1	社内でのアセスメントツールを活用しお子様一人一人の状態を確認しています。また、最低でも年に1回はアセスメントシートを更新し、成長に合わせた情報が把握できるようにしています	個別支援計画、アセスメントシート、日々の療育を今以上に紐づけが出来るような工夫を検討していきます
	16	5		報酬改定後の内容については、社内の担当チームを中心に会社全体での研修を実施し、今後の方向性を示してきました。個別療育を提供している事業所として、よりお子様一人一人の状況に合わせた支援目標を立て適切な療育が提供できるよう努めています	行政からの情報発信の場や他事業所の取り組みなど、確認できる機会があれば積極的に参加し、より適切な形で利用者様に提供ができるようにしていきます
	17	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		その日の受け入れ状況などの利用で、支援後の確認ができない場合があります。その場合、翌日のMTGの場や社内の共有ツールを使い、情報共有を行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			日々の支援記録については、全職員がいつでも確認できる状況になっています。課題や方針についての打ち合わせは必要に応じて、話し合いの場を設けています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		担当者会議の場には児童発達支援管理責任者と指導員が参加し、適切な情報提供が出来るように対応しています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		保護者様のご希望を確認し、通園されている幼稚園や保育園へ訪問し情報共有を行うことができます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		必要に応じて連携が取れるよう体制づくりを行っています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			社内研修を担当している講師が巡回するタイミングで保護者様が参加できる行事(座談会など)などを提供しています 内部・外部研修を行い、保護者様のニーズを踏まえて対応を検討していきます
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画の更新に伴い、支援内容の説明と同意を都度確認しています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		感染症などの状況に配慮しながら、今後も保護者のニーズを確認しながら保護者会の開催を検討していきます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		イベントのチラシ等を作成し、教室内に掲示したり、LINEや直接のお声かけで周知を行っています	外部に向けた発信をより強化できるような工夫を今後検討していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報に関しては個別にファイリングし、事務室のロッカー内に保管。また写真撮影に関しては個人情報の同意書での署名と適宜確認を行っています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		例えば言葉に発達課題があるお子様に対しては、言葉以外の手段を通してお子様の意思や気持ちを確認するような関わりを行っています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		必要に応じて検討していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		毎月、様々な状況を想定した避難訓練を実施しています。必要に応じて利用者にも参加頂いています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		各種委員会を設置し、委員会での決定事項に基づき定期的な内部の勉強会や訓練を実施しています	実際の非常時を想定し、地域の消防など関係各所と連携した取り組みを今後計画していきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に保護者様から情報を確認しています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	飲食物の提供は基本行わないが、念のためアレルギー等については事前に確認をとっています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		事業所ごとに安全計画を策定し職員間で共有しています。また、1年ごとの計画を更新し、事業所内で管理しています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		危険を感じたケースがあった場合、速やかに報告書を作成し、全体への共有と再発防止に役立てています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会の方針に沿って、伝達講習や事例検討を行っています	定期的な研修を行い、職員の意識の上で常に理解ができている状況になっている事が大切だと思います
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時の重要事項説明書の中で説明をして確認をいただきます。また、個別支援計画の中でも内容について記載し、更新のタイミングで都度了承をいただきます		